

## 【視察調査報告書】

会 派 名	立憲民主・市民の会
参 加 議 員	【議員】 4名 安藤 修三、小林 裕恵、九鬼ともみ、浜野 正太
日 程	令和7年（2025年）1月31日（金）
詳 細	
視察日及び視察先	1月31日（金）東京都 府中市
視 察 内 容	府中市行政評価(事務事業評価)について
概 要	<p>概要について、事務事業単位に担当部課、事業類型、事業開始年度、見直しの裁量、財源の構成、事業目標、及び事業内容について記載されている。</p> <p>実施計画には年度ごとの事業推移として計画地及び実績値の推移を記載している。</p> <p>事業費・人件費の推移について、当初予算額、予算現額、決算額と、職員数、職員人件費、間接経費を記載し総コストを積み上げている。</p> <p>厚生事業一覧について、事業の細目と当初予算額、決算額が記載されており、次年度予算額の記載がある。</p> <p>数値については会計システムと連動している。</p>
所 感 等  (意見・課題・ 本市への反映など)	<p>事務事業評価は行政の事務の最小単位として市民に公開されている。この点は八王子市も同様であるが、一つの事業に対する情報量については府中市がより多く数値を記載している。</p> <p>予算書においては人件費が特別会計に切り分けられるが、事務事業評価シートでは人件費の記載があるという点が「見やすさ」の補助になっていると感じる。わが市でもかつては人件費および職員数の換算を行っていたが、近年は行っておらず、事業の概要を把握するうえで重要性を感じた。</p> <p>会計システムとの連動があるため、数値的なデータは転記の手間が膨大ということではないということで、この点は八王子市においても改善が図れる可能性がある。</p> <p>他方、市民に対する情報公開という観点からは、どれほどの結果が出ているかということは一概には計測しづらいという課題があるということで、八王子市においても同様の課題を有しているものと理解している。</p> <p>議会における活用について伺ったところ、事務事業評価を参照するかどうかは議員個人の傾向もあるということで、積極的に活用できているかどうかは一概には判断できないとのこと。八王子市は決算のタイミングで公開されており、アクセスは保証されているが、その点についてはあくまで個々人の判断である。</p> <p>また、わが市においてもサンセットや EBPM など、行政評価の手法が様々あるが、市民にとってより良い情報公開がなされることを期待する次第である。</p>